

大阪府指定出資法人評価等審議会（第4回）

- と き 令和4年5月18日（水曜日）9：30～11：40
- と ころ Web 開催
- 出席者 吉村 典久（大阪公立大学大学院経営研究科・商学部 教授）
飯島 奈絵（堂島法律事務所 弁護士）
上野山 達哉（大阪公立大学大学院経営研究科・商学部 教授）
川崎 ますみ（オフィス・リオ 中小企業診断士）
久保 明代（株式会社プロスパー・コーポレーション 代表取締役会長）
坂本 守孝（坂本会計事務所 公認会計士）
山田 美智子（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 主任研究員）
- 議 事 令和4年度経営目標について
 - （1）（公財）千里ライフサイエンス振興財団
 - （2）（公財）西成労働福祉センター
 - （3）大阪信用保証協会
 - （4）（株）大阪鶴見フラワーセンター

（1）（公財）千里ライフサイエンス振興財団

資料に基づき、事務局から令和4年度経営目標案の説明

- 委員：様式6の「効率的・効果的な資金運用」について、当初の計画値の設定金利と現在の金利差はどれくらいあるか。
- 法人：当初の想定金利は基本財産が1.93%、特定資産が2.65%、令和4年3月末時点では基本財産2.17%、特定資産3%となっている。
- 委員：円安に振れており、為替差益が大きくなると思うが、計画時の水準で運用目標を見る理由を教えてください。
- 法人：しばらく円安が続くとは予想されるものの、為替の動きについては不透明と考えており、収支相償を実現できる目標として設定している。
- 委員：計画を設定されたときの為替レートと、現在、令和4年度予算上の為替レートに差がでないとおかしいと思うので、その点、根拠をつけて説明してほしい。
- 法人：承知した。
- 委員：「安全かつできるだけ有利な運用を行うために6割を為替連動としている」とあるが、為替連動は一般的にはリスクを取って、高利回りを目指すもので、記載の整合性がとれていない。財団の経営成績評価につながる目標値であり、あらかじめ達成できる目標に点数はつけられない。リスク商品を選んでいるのであれば、為替の変動も織り込んだ目標値として欲しい。
- 委員：「千里ライフサイエンスセミナー参加者数」について、令和3年度の参加申込者数は何人か。
- 法人：全6回合計で3,216人。
- 委員：リアル参加者は1人としてカウントされるが、Web参加者は出入りがあるため、延べアクセス数でカウントした場合、令和3年度の参加者数は約4,500人となり申込者数を上回っている。この点をどう考えているのか。
- 法人：より正確にカウントしていきたいと考えているが、現状ではWeb参加者ひとりひとりを判別してカウントすることは困難。

- 委員：今後もより適切なカウント方法を検討していく旨を追記してほしい。
- 法人：承知した。
- 委員：様式6「千里ライフサイエンスセミナー参加者数」の目標の考え方について、令和3年度の第2回目は特異事例として除外しているが、何か特別な取組みをしたのか。
- 法人：「新しい医薬品概念」をテーマに設定し、非常に高い関心があり、他の5回と比較して、突出して多くの参加をいただいたため特異事例としている。
- 委員：令和4年度目標値は、なぜ平均値ではなく、中間値という考え方としているのか。
- 法人：特異事例を除いた5回の中でも、まだボラティリティが大きい。そのため、平均値よりも中間値の方が妥当と考えた。Web開催の通年実施は昨年度が初めてであり、開催を重ねデータが蓄積されると、より傾向がつかめるようになるのではないかと考えている。
- 委員：ボラティリティが大きいという点など、もう少し詳細に中間値を採用する妥当性を補足してほしい。
- 法人：承知した。

(2) (公財) 西成労働福祉センター

資料に基づき、事務局から令和4年度経営目標案の説明

- 委員：新施設への移転予定について、裁判等で遅れていると伺っているが現状はどうなっているか。
- 部局：令和4年3月に新施設の基本設計まで完了している。当初は2025年の新施設供用開始を目指していたが、敷地内で不法占拠状態であり、現在は高裁にて係争中。不法占拠が解消された後に解体工事着手となるため、整備計画は今後も遅れることが想定される。
- 委員：雇用条件の向上を図った求人の紹介件数について、どのような「雇用条件の向上」が多いか。また、今後力を入れていきたい条件等はあるか。
- 部局：実績としては、「未経験者の採用」や部屋の拡充、Wi-Fiの設置といった「宿舍面の向上」が多い。令和4年度からは、高齢労働者への対応のため「65歳以上の雇用」を新たに追加している。
- 委員：技術資格取得による安定就労に関連して、技能講習を修了された方は何名か。
- 部局：39科目273名となっている。
- 委員：効果的な就職支援につなげるため、受講修了者のその後について分析を深めてほしい。また、新規他機関連携についてはどのような機関と連携しているのか。
- 部局：生活困窮者支援を行っている地域の団体や大阪市役所、区役所の福祉関係部局のほか、警察署、保護観察所などと連携している。
- 委員：未達成の要因分析を踏まえた今後の対応において、各関係機関と日常的な情報交換に一層取り組むといった記載はあるが、これだけでは令和4年度目標を達成できるのかがわからない。こういった取組みをするのか等、もう少し具体的な内容を追記してほしい。
- 部局：承知した。

(3) 大阪信用保証協会

資料に基づき、事務局から令和4年度経営目標案の説明

- 委員：「保証債務残高」のR4目標設定の考え方について、計算式が記載されているが、令和3年度実績と令和4年度目標の計算式の内訳数値を様式内に記載してほしい。

部 局：承知した。

委 員：「専門家による経営診断件数」について、ウエイトが 10 から 15 に上がり、求償権の「回収額」のウエイトが 15 から 10 に下がっているがどういった理由からか。

部 局：コロナ関連融資が保証債務残高の多くを占めているが、据置期間が終わり、元本返済が始まってくる時期であるため、回収を緩めるというわけではないが、まずは代位弁済が増えないように、期中管理として経営支援を強化していきたいと考えている。

(4) (株) 大阪鶴見フラワーセンター

資料に基づき、事務局から令和4年度経営目標案の説明

委 員：「当期経常利益」の R4 目標設定の考え方に、今後の市場のあり方を検討しながら設備投資を実施していく、とあるが、どのような段取りで進めていくのか。法人や府の役割分担はどのようなになっているのか。

法 人：設備投資については、短期的なものの中長期的なものがあり、短期的なものについては、現在、場内事業者が利用する設備が十分でなく、入荷した花が場内にそのまま置かれているという状況がある。適切な温度で保管する必要があることから、令和4年度の設備投資については、花を保管する低温スペースの拡充を中心に進め、花に優しい市場を目指していきたい。また、今後の市場のあり方については、開場後 28 年が経過し、建物だけではなく場内の物流設備も古くなっているため、整備していく必要がある。当市場の上にはアウトレット施設があり、縦に長い建物となっているため、市場としては少し使いづらい構造となっている。今後、場内事業者が荷物の取扱量を増やしていけるような方策を検討していきたい。また、市場開設者である法人と大阪府、大阪市、場内事業者の関係者がいる中で、役割分担としては、まず法人と場内事業者が今後の整備の方向等を議論し、並行して府市とも相談しながら、検討を進めていきたいと考えている。

委 員：花の取扱いに対する整備については、短期的に解消しなければならないとのことだったが、令和4年度中に解消できるのか。

法 人：現在、今年度実施分については、盛夏までに対応できるよう、契約や発注等を進めている。

委 員：法人及び場内事業者での意見の取りまとめと、府市への相談については、こういったスケジュールで進めていくのか。例えば、年内に一定のめどがつくのか。

法 人：場内事業者と話し、年度内に一定の方向を固めていきたいと考えている。

委 員：「新規買受人の獲得」の未達成について、新規の出店者が増えないことが主な要因とのことだが、全国的に同様の傾向があるのか。

法 人：他市場とも情報交換をする中で、買受人、特に小売業者の出店が伸びていないという話を聞いている。その背景として、花きの産地が疲弊している傾向があると思う。花が売れずに野菜に切り替えるという流れもあり、入荷量が落ちてきている。卸売価格が高くなると小売業者の負担が増えることから、新規参入へのハードルが高くなっている面もあるのではないかと思う。

委 員：状況が好転するかどうかは、新型コロナウイルスの影響次第なのか。

法 人：新型コロナウイルスの影響ももちろんあるが、卸売業者から産地に直接働きかけを行うことで、野菜の生産に切り替えた産地に対して、花の生産を呼び掛けたり、新しい産地に対して支援を行い、花の産出量の増加が図られるのではないかと考えている。

委員：卸売業者が産地に働きかけを行う際には、法人も関わるのか。

法人：法人も卸売業者と一緒に産地に行き、市場開設者として、鶴見市場に花きを送ってほしいという話をすることもある。ただ、産地と直接取引を行うのは卸売業者であることから、働きかけについても、卸売業者の影響が最も大きい。

委員：未達成の要因について、新規出店者の獲得が難しいという背景と、今後の状況改善に対する取組みの詳細を、様式に追記いただきたい。

法人：承知した。